

日本庭園でお月見！

8日（月曜日）区立角川庭園（荻窪3-14-22）では、中秋の名月に合わせて、「名月を楽しむ夕べ」が開催されました。そのお月見ムードを高める琵琶の演奏や野点、俳句の展示などもあり、多くの来場者がお月見を楽しみました。

お月見というと、中秋の名月が有名です。中秋の名月とは、十五夜と呼ばれ、旧暦の8月15日に見える月を意味します。その旧暦で、秋は7月から9月とされているため、8月は中秋と言われています。今年の十五夜は、9月8日となっています。

角川庭園・^{げんぎさんぼう}幻戯山房～すぎなみ詩歌館～は、ご遺族から寄贈を受け、俳人で、角川書店創設者である角川^{げんよし}源義氏の邸宅を改修し、平成21年にオープンしました。現代数寄屋造りの建物は、平成21年11月に、国の登録有形文化財に登録されました。その庭園には、オミナエシヤススキ、ハギ、キキョウなどの秋の七草が咲き、そして手入れの行き届いたアカマツやサルスベリ、タイサンボクなどの庭木が配置されています。

この角川庭園で、最近ではなかなか体験することが少なくなってしまう日本古来の伝統行事を楽しんでもらおうと、「名月を楽しむ夕べ」が催されました。この催しは、施設を管理しているNPO法人学びの楽園が企画したもので、昨年に続き2回目の開催となります。



午後3時、日本庭園を琵琶の音が包み込みました。古澤月心さんの語りで、「月下の陣」「訪月（つきみ）」が披露されると多くの来場者とその演奏に耳を傾けていました。また、野点もお月見ムードを高めました。この日は、お月見の会として通常の午後5時までの開館時間を午後8時に変更しました。あいにくの曇り空ですが、雲の向こうの十五夜を想像しながらのお月見となりそうですが、昨年同様、およそ200名の来場を見込んでいます。

【報道機関 問い合わせ先】

角川庭園・幻戯山房～すぎなみ詩歌館～ 03-6795-6855

総務部広報課 03-3312-2111 内線1502